

2020年度事業報告書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

真田の郷まちづくり推進会議 会長 坂口純一
真田の郷まちづくり推進会議 2020年度会長 宮下俊哉

1. 事業の実施について

2020年度事業は「真田の郷まちづくり計画」に基づき、地域の団体や活動者とともに部会的な活動へ向けて取り組んだ。新型コロナウイルスによりイベント等は実施できなかったが、コロナ禍でもできる活動を行った。

① 福祉部門

『支え合い会議事業』では、「ぶらさなだ」や「よろず講演会」など人が集まるイベントは中止としたが、高齢者の緊急時対応を目的とした「支え合いカード」を2021年度発行に向けて調整した。

『地域包括支援事業』では、移動と買い物の調査を行い、「移動販売車」の実施に向け検討を行った。また、高齢者への買い物等に関する情報提供を目的とした「地域資源マップ」を2021年度発行に向け検討した。高齢者の居場所づくりを目的とした「真田よりあい講座」（男性が輝く！魅力アップ講座）は中止となった。居場所づくりの研修として他地区の地域包括支援センターなどとセミナー等に参加した。

② 教育文化部門

教育文化部門の『コミュニティスクール推進事業』では、長小学校郷土資料室を活用した地域コミュニティスペースの整備及び地域の財産である郷土資料の活用のため、郷土資料室の整理を地域ボランティアと子どもの接点の場所として下半期から実施した。地域のボランティアとともに学校側も非常に楽しみにしてくださり、展示ケースの修繕や下駄箱撤去など整備が進んだ。他イベント事業はすべて中止とした。

③ 防災防犯部門

『安心安全事業』は、小学校の見守り隊などの連携連絡会議などを考えネットワークづくりを計画したが集まることが難しく調整に至らなかった。

『地域防災事業』は、防災部会を立ち上げるとともに自治会に呼びかけを行い、希望のあった5自治会で「防災講習会」を開催することができた。

④ 自治コミュニティ部門

『地域づくり総会』は、「運営委員会」など小規模開催も検討にいれながら実施時期を模索したが開催することができなかった。

『真田まつり企画運営委員会』への協力も「真田まつり」の中止に伴い実施できなかった。

⑤ 総務広報部門

『広報委員会』を組織し年4回の発行を計画したが、集まることが叶わず、単年度の広報委員会として地域の団体などリモートによる打ち合わせを行い、年度末に「特別号」として16ページ分の地域活動を紹介する紙面を作成し発行した。作成にあたっては接触を避けながら原稿を送っていただくなどの工夫を行った。

⑥ 理事執行部

『アンケート事業』は東京大学工学部特任助教の新雄太先生の監修の下、横沢自治会と下郷沢自治会において集落全員アンケートを実施し、中学生以上の住民全員の意見を集めた。通算で4つの自治会のアンケート集計ができ、地域データが集まりつつある。

今後の事業展開の参考としたい。

『組織基盤整備事業』では各セミナーなどに参加した。総務執行部などの研修会は計画したが実施できなかった。

2 事業の実施に関する事項【交付金に関わる非営利事業】※実施事業のみ掲載

活動	日時		内容
理事会	書面表決	2020年5月	理事会の開催
	第1回	2020年10月22日	
	第2回	2020年12月21日	
	第3回	2021年1月8日	
	第4回	2021年3月1日	
評議員会	書面表決	2020年5月	評議員会の開催
	書面決議	2021年1月26日	
	第1回	2021年3月23日	
① 福祉部門			
支え合い会議	通年	支え合い会議の開催 年6回 支え合いカードの検討・調整	
地域包括支援事業	通年	移動と買い物に関する調査 移動販売車検討 地域資源マップの情報収集等	
② 教育文化部門			
コミュニティスクール推進事業	2020年9月～ 2021年3月	住民、学校、児童、教育事務所と協働で資料整理、展示を行った。	
③ 防災防犯部門			
地域防災事業	通年	防災部会発足 部会を2回開催 防災講習会5自治会で開催し講師を派遣、その他1団体で実施	
⑤ 総務広報部門			
広報委員会	2021年3月	さなぎ新聞年刊号の発行	
⑥ 理事執行部事業			
住民アンケート			2自治会の住民中学生以上全員を対象とした全住民アンケートを実施した。 アンケート結果は両自治会で説明会を開催した。
調査	横沢自治会	2020年8月～	
	下郷沢自治会	2020年8月～	
結果説明会	横沢自治会	2021年2月26日	
	下郷沢自治会	2021年2月15日	

2 その他事業に関する事項【交付金以外の事業および非営利活動に係る事業以外の事業】

実施なし